

# 未来を創る子どもたち

～つながり合い・学び合い・千代田愛～



千代田中学校だより 5月号

## 【部活動】

4月の全校集会で、男子卓球部(地区春季大会 団体第3位)、男子バスケットボール部(地区春季大会 優勝)の表彰を行いました。賞状を受け取り、全校生徒から拍手をもらったときの、誇らしくて照れくさそうな様子が、とても印象的でした。

そして、このゴールデンウィーク中の5月2日(土)に、サッカー部の地区春季大会の決勝があったので、歓喜の瞬間を私も味わってきました。試合は1点リードしていたのが同点に追いつかれてしまい、ハラハラする瞬間もありましたが、後半に1点追加して2対1での勝利、地区優勝です。たくさんの保護者のみなさまも応援に来ていただいていたいました。ありがとうございます。



私も長年顧問をしていましたが、地区大会で上位入賞するのは簡単なことではありません。それを成し遂げた生徒たちに、心からの拍手を送ります。

一方で、部活動では勝つことだけをめざしているわけではなくて、ほかにも大事にしていることがあります。例えば、先日のクラブミーティングでのことですが、私が「部活をする時に支えてくれている人は?」と質問すると、すぐさまあちらこちらから「先生!」「家族!」「仲間!」という答えが返ってきました。いろんな人に支えてもらって活動できているという感謝の気持ちが育っていることがよくわかる場面でした。また、前述のサッカーの試合中、顧問の先生が「上手いかわなくてもがまんするんやで」と声をかけていました。ゲーム中の声掛けですが、生活の場面にも通じることを学んでいると感じました。

部活動では、しばしば一生懸命な気持ちが高じてすれ違いが起こり、トラブルになることもあります。でも、トラブルを解決する過程で、生徒は成長します。そんなときに、干渉し過ぎないように、それでいて解決の方向を見失わないように、顧問は絶妙な距離感で見守ることで、生徒の確かな成長を支えています。

部活動には、目に見えない無数の「心の鍛錬」があります。勝って奢らず、負けて腐らず、他者を思いやり、感謝する。そんな部活動を通して、生徒たちは今日も、大切な何かを学び続けています。



## 4月の学校生活



仮入部(バスケットボール)



仮入部(卓球)



仮入部(吹奏楽)



大班長会議(3年生)



学級旗製作

